

地域美産研究会ニュース No.68

発行:平成 22 年 (2010 年) 2 月 12 日 実施期日:平成 22 年 5 月 8 日 (土)

第 68 回 催事 美産研究会 JR 西荻窪駅周辺散策とアート&薪能鑑賞

居酒屋やレストランは、“オトナの遊園地”であり、はしご酒は“小さな旅”であるといわれています。しかし、この旅は情報なしでは、しばしば痛い目(=がっかりすること)に遭うことがあります。

今回の企画は、「案内者が現在住んでいるか、(または過去に住んでいたとか、)よく出かけて知っている魅力的な街にある居酒屋・レストランやアート・演劇鑑賞を含む見所をお互いに紹介しあおうという趣向」で開催します。そして恐らく一人では見る事が出来ないであろう街を案内人(世話役)の解説付きで歩き、あわせて飲み喰いも大いに楽しもうという趣向です。

その第一段として、今回は JR 中央線の西荻窪駅周辺を下記要領で歩く企画を考えました。鉄道の 2 路線がある駅を含む街は“一丁小町”と言われますが、西荻窪駅は、その“一丁小町”である「吉祥寺駅」(JR と井の頭線)と「荻窪駅」(JR 中央線・総武線と丸の内線)の中間(1 駅目)にあり、“二丁小町”ともいふべき魅力的な街です。多くの文化人が住んでおり、アンティーク店と古本屋が数多くあることが知られており、最近ではパブリックアート作品も設置されてきています。散策終了後、居酒屋でお酒を飲みながら食事を済ませ、幻想的な夜の百草八幡宮神楽殿で、年 1 回開催される本格的な「薪能」を鑑賞します。

【主な立ち寄り先】

高円寺駅 10:55 集合→座・高円寺見学→西荻窪駅 11:45(アート見学)→昼食 13:00~14:30→散策 14:30~17:00→夕食 17:00~18:15→薪能 18:30~20:30 頃(終了後、解散)

(1) 2001 年に大江戸線環状部 10 駅と競い、グッドデザイン賞の“金賞(大賞)”を受賞した「仙台メディアテーク」や“みなとみらい線”の「元町・中華街駅」の駅構内全体を幕末の横浜を撮影した絵ハガキ写真を拡大したタイルで覆ったユニークなデザインで著名な建築家・伊東豊雄さんが、テントをイメージして設計したという杉並区の芸術・文化拠点「座・高円寺」(21 年 5 月開業)を見学後、JR 西荻窪駅に移動します。(11:00~11:30)

(2) 東京藝術大学教授で著名な彫刻家・藪内佐斗司氏(奈良で開催の平城遷都 1300 年祭のマスコットキャラクター「せんとくん」の作者)が制作し、21 年 5 月に西荻窪駅周辺に設置された「六童子」(上向き童子、花の童子、おすもう童子、縁結び童子、大朝露童子、龍神童子)等のパブリックアート作品を見学します。(11:45~13:00)

(3) 西荻窪駅周辺に数十カ所あるといわれているアンティーク・ショップやギャラリー、古書店の中から特にユニークな店を選んで見学します。(14:30~16:00)

(4) また、西荻駅北にあり、都立日比谷公園や井の頭公園のような喧噪と賑わいとは違い、静かな佇まいの「善福寺公園」(東北遠征の帰りに源頼朝が矢尻で突いて湧水を掘り当てたと伝えられている“遅の井”やJR 西荻駅の土地を寄贈し西荻窪を発展させた功労者で井荻村長の内田秀五郎像)や白亜の時計台が美しい「東京女子大キャンパス」等も時間が許す限り見学します。(16:30~17:00)

(5) 昼食は、リーズナブルな料金で美味しいイタリアンレストラン「ピア・ヌーボー」か「Del Papa(デルパパ)」、または各種の蕎麦料理店紹介本に必ず掲載されている蕎麦の名店「大村庵」か「鞍馬」で摂ります。(13:00~) 1,600~2,000 円<各自精算>。

(6) 夕食&懇親会は、JR 西荻駅北と南口に戦前からある焼き鳥屋「戎」か上記(5)で 17:00 頃から 18:20 まで開催します。(17:00~18:00) 2,000 円程度<各自精算>。

(7) その後、源頼朝が東北追討の際 1193 年に植えたという松の傍にある井草八幡宮神楽殿で開催される第 9 回「薪能(葵の上)」を 19:00 頃より鑑賞します。(薪の炎の弾ける音や煙の臭いが流れる星空の下、幻想的な鎮守の森の中の神楽殿で、“金春流能楽師”による本格的な能舞台を鑑賞しながら一夜を過ごします。<注記：22 年 5 月 8 日開催の第 9 回の今回の演目は“葵の上”です。源物語の光源氏の正妻の「葵の上」に六条御息所が恨んで、その生霊が取りつくという話を題材にした能です。)> (18:30~20:30)

企画・案内 石村誠人



1999~2004 年に東京都地下鉄建設(株)在籍時代に、大江戸線環状部 26 駅の改札口付近に 29 点のアート作品を設置し、その寄付金(530 百万円)集めと作品の選定作業(コンパ等)に従事。自ら企画・編集した写真集「駅デザインとパブリックアート(21 世紀の地下鉄をめざして)」1 万冊を制作・販売し、「大江戸線 12 駅見学ツアー」を 76 回開催し、2,030 人を解説付で案内している。2005 年に、「駅(街)デザインとパブリックアート研究会」を設立し、優れた駅(街)の建築デザインとアート作品を見学・評価する会の代表世話役を務めている。

第 68 回催事 美産研究会『JR 西荻窪駅周辺散策とアート&薪能鑑賞』

日 時	平成 22 年 (2010) 5 月 8 日 (土) 11:00~20:30 頃 (雨天決行)
場 所	JR 中央線 高円寺改札口前 10:55 集合 (注記:土曜日は快速は停まりません)
企画・解説	石村誠人
参加人数	20名。
参加費	会員3,500円 一般4,500円 昼食代・飲み物代、交通費は各自精算
交 歓 会	未定/費用別途¥2,000程度の予定(当日自由参加)
当日の連絡先	080-3543-7416 (石村)

参加申込書

記入日：_____年 _____月 _____日

① **3月15日(木)迄**にこの申込書をメール又は郵送で。

ふりがな		性別	男・女	年齢	才
氏 名		職業			
住 所	〒				
生年月日	大正/昭和/平成 (西暦) 年 月 日				
会員資格	①会員 ②一般(非会員)				
Tel		Fax			
Tel(携帯)		e-mail			

② 参加記入欄 (該当金額欄と交歓会の出欠欄に○を記入してください)

	1 探訪会	2 ご寄付 (任意)	3 合 計	交 歓 会	
会員	3,500			出・欠	当日清算
家族/法人会員 (1人目)	4,000			出・欠	
家族/法人会員 (2人目)	4,000				
学生と地元関係者 (企画者推薦者)	3,500				
一般(非会員)	4,500				

参加申込と受付 会員優先でお申込先着順となります。以下の申込手続きに従ってお申込みください。

- 参加申込欄の記入事項欄に必要事項を記入し、メールかファックス又は郵送で事務局へ。
- 事務局から参加枠確保の連絡を受けて、指定振込口座(みずほ銀行 虎ノ門支店 店番号046 普通口座 口座番号 4053204 地域美産研究会 会計 渡辺久剛)に参加費用を振込料自己負担で振込み願います。
- 振込みの無い場合は参加できない場合があります。
- 振込み済み料金払い戻し;主催者側瑕疵の場合を除き払い戻しできません。
- 申込締切日: 3月15日(月)
- 郵便宛先: 〒241-0836 横浜市旭区万騎が原71
メールアドレス: toshie@cc.catv-yokohama.ne.jp

③ 振込金額 (上欄○印金額の合計をご記入願います): ¥ _____

Public Art Forum 地域美産研究会とは

日頃人々が生活する場に創り遺された地域の社会美産*たちを、専門家と一緒に現地に訪ね、歴史と文化、地域性や国際性、美や技、景色などの視点から眺めて味わい、地域の魅力を再発見・再評価する。

(*社会美産と地域美産:パブリックアートの視点を拓ける為の新造語)

地域の魅力再発見・再評価を通して、改めてその土地ならではの歴史や暮らしに愛情・尊敬・誇りを感じ、心の充実安心を得て、自分づくり、家族との絆づくり、仕事づくり、会社づくり、街づくり、国づくりに役立つ何かを見付けながら、仲間達との交歓を楽しむ会員制非営利任意団体です。

会員入会者・催事参加者は、学生・社会人・各分野の専門家など時には外国人を含む幅広い人々が分け隔てなく参加して、各人ならではの参加意図に適った充足感を味わっています。

地域美産研究会は、街づくり景観づくりに関係する地方自治体や都市デザイン・アート分野の人々が集い活動した「パブリックアート・フォーラム」(平成6年~13年、代表幹事 田村 明)を継承した会で、非会員の方々も活動に参加できます。



Public Art Forum 地域美産研究会 設立のきっかけ

パブリックアート・フォーラムは、平成14年(2002)12月迄の過去10年間、美術館から街中に出て、各地の街角や広場に設置された彫刻に代表されるパブリックアートたちに焦点を合わせて、もっぱら欧米におけるそれらの役割・効果を倣って、普及・研究活動を行ってきました。

その後、米国のパブリックアート著名作家 マヤ・リンが、伊勢神宮を日本の優れたパブリックアートとして挙げたこと、環境美学研究家バーバラ・サンドリッセがその著述「パブリックアートとしての鳥居、その不思議な魅力(2000年刊)」で、日本の鳥居をパブリックアートとして大変高く評価したこと、平成13(2001)年、女史の来日を記念して開催した特別フォーラム「バーバラ・サンドリッセと都心の鳥居を探訪し、女史の話を聞く会」での体験が、パブリックアートに対する私達の視点を大きく広げて、新しい活動を促しました。

私たちのごく身近に古くから在って、地域の生活と密接に係わりながらその地の生活文化を創り育て、人々の心の拠り所になってきた、その地ならではの美しき良きモノたちを、従来型のパブリックアートを含めて現地に訪ね、肌で味わい評価する。

それらの再発見・再評価を通じて、地域の暮らしと歴史に愛情・尊敬・誇りを感じ、心の充実・安寧を得ながら次代を生き抜く力とする。「Public Art Forum 地域美産研究会」(昨年度迄は「地域美産研究・探訪会」)は、このような主旨から平成14年12月1日に設立された活動団体です。



Public Art Forum 地域美産研究会の事業

- 1 地域美産研究会：
研究会； 「地域美産」の調査・研究・学習・討論会。探訪会とセットの場合有り。
探訪会； 専門家の案内で地域の美産達を現地に訪ね、その魅力を再発見・再評価。
交歓会； 探訪会終了後、その地の銘舗で地域の料理・地酒を味わい参加者同士が交歓。
- 2 会員の才覚とやる気を、催事や事業づくりに活かす「場と機会」の提供：
過去、会員の想いを実現する催事活動を多数開催。詳細問い合わせは研究会へ。
- 3 各種の地域おこし事業受託：
「地域美産研究・探訪会と評価活動」のソフトを活用し、
自治体民間企業等の地域おこし事業の企画・調査・事業 等の受託。
- 4 広報出版活動：<http://www.publicart.co.jp>、会員への定期 News 発送、他。

組織

運営： アドバイザー・会員等の意見・提言を受けて「世話人会」が運営を担う。

(1) 世話人会

創業者／相談役： 杉村 荘吉 (パブリックアート研究所代表)
代 表： 藤嶋 俊會 (美術評論家、元神奈川芸術文化財団)
副 代 表： 伊豆井 秀一 (埼玉県立近代美術館主席学芸主幹)
世 話 人： 石村 誠人 (監事： 駅・街デザインとパブリックアート研究家)
渡辺 久剛 (会計： 三井不動産ビルマネジメント(株))
長谷川 総一郎 (彫刻家： 富山大学教授)
橋本 完 (アート・インキュベータ： アトリエまほろ主宰)
宝利 修 (ITアドバイザー： ぶんか合同会社プランナー)

(2) アドバイザー

加藤 源 (都市計画設計家、日本都市総合研究所代表)
後藤 元一 (環境設計家、元札幌市立高専教授)
建畠 哲 (美術評論家、国立国際美術館館長)
山岡 義典 (日本NPOセンター副代表 理事)

(3) 名誉会員

サンドリッセ・バーバラ (環境美学研究家) (敬称略)

年間予定 平成22年(2010年)2月1日現在

平成22年(2010年)				
1	30	土	医療福祉とアート	桑野隆司
3	6	土	パブリックアートから地域美産へ	杉村 荘吉
5	8	土	JR 西荻窪駅周辺散策とアート&薪能鑑賞	石村 誠人

* 他に海外ゲストを迎え催事開催の場合あり

【地域美産研究会 入会のご案内】

- 入会は、下記HPからお申込みください。研究会よりご連絡いたします。年会費 ¥5,000~
万—ご連絡がない場合、045-361-0461 までご連絡ください。

http://www.publicart.co.jp/PublicArtNew/form/entry_form.html